

南台湾における道教廟の利用と廟の年中行事

—廟イメージ調査と新聞記事による考察—

鳥飼 香代子・蕭 玉 燕*

Studies on the Annual Function and Event of Taoist Temples in Tainan City
—Analysis on the Image Investigation and Newspaper Articles of Temples—

Kayoko TORIKAI and Yuyen HSIAO

Abstract

Taiwanese people have various opinions to Taoist temples in Taiwan's present-day society. However, a survey to 150 people -- 'Image of Taoist Temple' shows that most Taiwanese people have positive opinions about the temples. Furthermore, newspaper articles (year 2000 to 2001) with regard to Taoist temples also showed their importance in Taiwanese society.

Through several events and activities at temple fairs, Taoists keep up the tradition, culture and folklore from their immigrant ancestors. Thus the events not only have the religious purpose, but also a remembrance of people, things and matters.

Key Words: Image of Temples, Annual Function, Event of Taoist Temples

1. はじめに

本研究は、アジアの都市における道教廟が地域コミュニティの中で、集い施設としての役割を果たしていることを実証的に明らかにし、都市生活のアメニティ改善へのヒントを得ることを目的としている。筆者らは一連の研究^{*)}の廟利用者調査で、台湾(台南市やその周辺)の多くの廟が宗教施設としての利用を超えて、近隣住民の集い利用がなされており、街中の集まり空間、行動拠点として利用されていることを指摘した。本稿は街中にいる人を対象に、廟にどのようなイメージを持っているのかを聞いた調査結果である。さらに新聞という大衆メディアでは廟はどのような存在として扱われているのかを把握しようとしている。この2つの分析を通して、特別な廟関係者ではなく、一般の人が廟をどのように生活の中で位置づけ、利用しているのかを探ろうとするものである。

2. 調査の方法とヒアリング調査対象者の居住エリアと廟の立地 (図1)

一般の人が廟にどのようなイメージを持っている

かを知るために、2003年8月25日～27日(平日AM:9:00～PM:18:00)の3日間にわたり、台南市駅前の繁華街で、150人に廟のイメージについて調査用紙を使ったヒアリング調査を実施した。更に地元新聞が廟のどのような年中行事やイベントを取り上げているのかを年間を通じて知るために、2000年1月1日～2001年12月31日の間、南台湾廟の年中行事やイベントなどに関する新聞記事(台湾「中国時報」と「自由時報」の南部版を主として)を集めた。

まず、調査対象者の居住エリア(台南県や台南市)について図1(調査対象者の居住地域は左の地図)に示す。台湾はこの100年間で、人口増と併せ、居住区が山岳地帯を形成する中央部分を避け、平野部の多い西側を中心に拡大していることがわかる。しかし、台北市のある北西に比べ、今回調査対象とした地域のある南西の変化は緩やかである。つまり、台北市地域と比較すると、地域社会の変化が緩やかな地域であるといえる。

また廟と特別な関係を持つかどうかにかかわらず、自宅周辺に廟があれば、廟への認識は一定変化すると考えられるので、廟の立地の特徴を説明しておく^{*)}。大半の廟は住宅区にあり(図2, 図3は代表的な事例である)、周辺を住宅に取り囲まれている。また幹線道路には接してなく、車が通ることの

* 自然科学研究科博士課程後期
台湾南榮技術学院講師

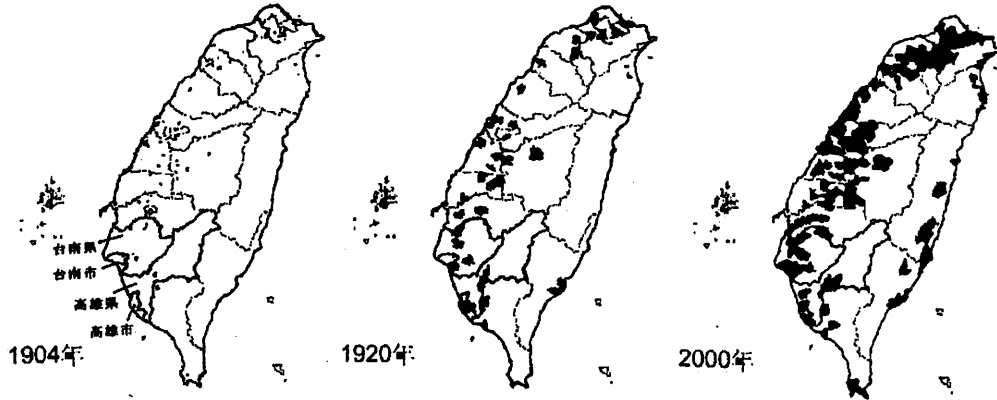
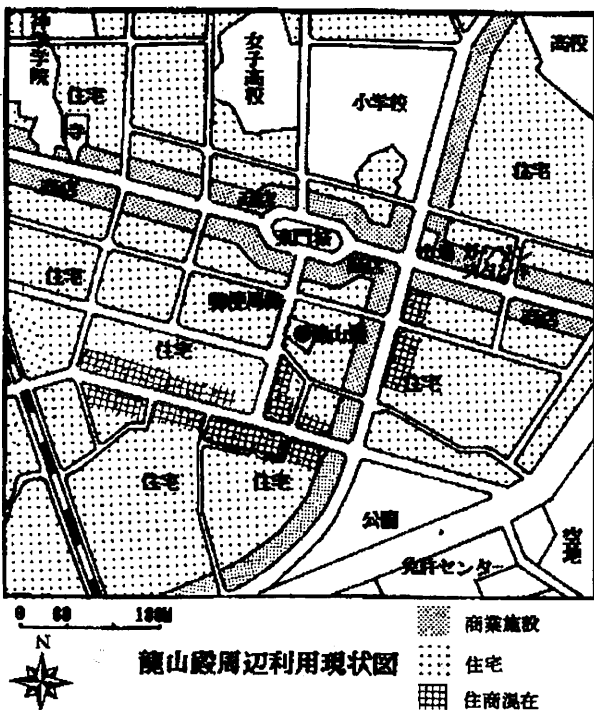
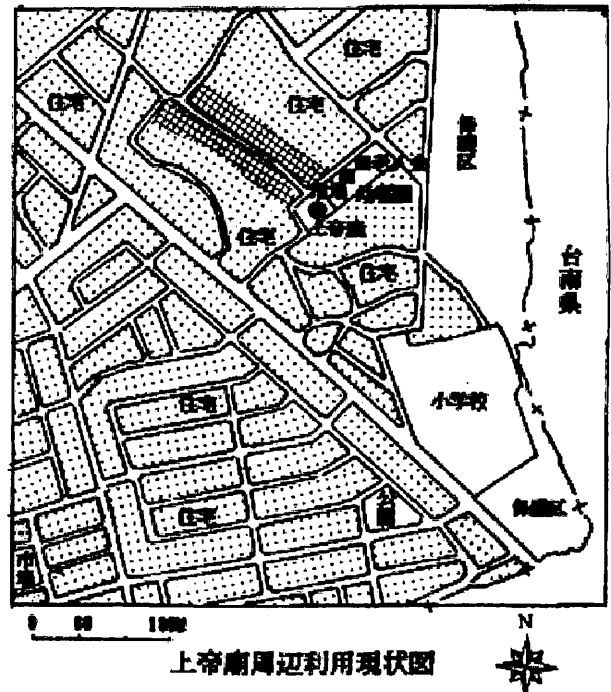


図1 台湾市街変化図^{註1)}



龍山殿周辺利用現状図

図2 廟周辺環境事例Ⅰ
(台南市東区「龍山殿」)



上帝廟周辺利用現状図

図3 廟周辺環境事例Ⅱ
(台南市東区「上帝廟」)

できる程度のいわゆる路地からアクセスする廟が多い。このように、廟は住宅の中に点在しており、近隣住民に取っては身近な存在と認識されやすい。また幹線道路から外れているため、安全な環境で行き来できる条件をもっている。

3. 廟へのイメージ

「街の発生・発展と廟」について郭文²⁾は「移民の時代から町と廟とは一体となって盛衰をともしてきた。『個々の住居よりもまず集団の廟を立派にしたい、廟が栄えることで個々が栄える』という考えが台湾の人々に存在した。町が発展、繁栄し、住民が増加すれば廟への寄進も増加し、廟は拡大改修を

行える。また霊験のある廟は地区内のみならず、全島からの信仰も受けて町とともに拡大の道をたどる。」と述べている。つまり、かつての台湾人は廟と特別な関係になくとも「廟が栄えることで個々が栄える」と考えていた。本稿では、廟を肯定的に捉え廟訪問をしているかどうかと、意識として肯定しているかどうかをみることで、現在の人々の廟の位置づけを探る。

3-1. イメージ調査対象者の居住地と属性 (図4, 5)

調査が台南市駅であるため対象者の居住地分布はほとんど台南市の南や近くの縣市であるが、台南県

市だけで81%である。(図1に地名を記す, 図4参照)。調査対象者は全部で150人, 男性70人で, 女性80人である。44歳以下の若中年中心(82%), 男女性別は, 女性がやや多い。また45歳以上は18%しかない。職業について20代(37人)は学生が多く, 30~40代は会社員がほとんどである。60歳以上は(9人), 主婦や農業, 無職などである。

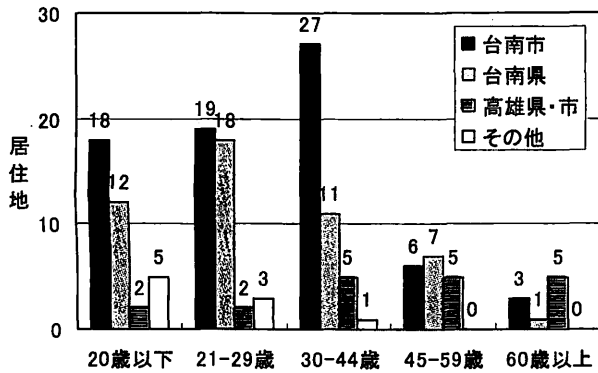


図4 調査対象者の年齢別居住地

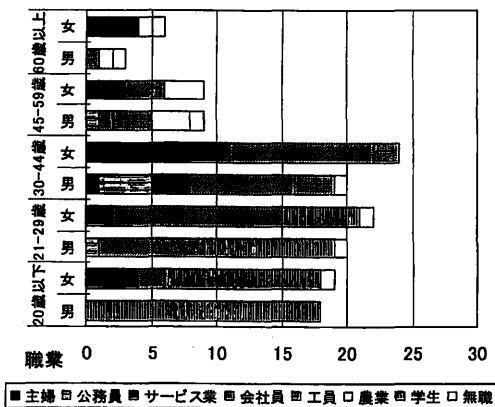


図5 調査対象者の属性

3-2. 廟訪問と廟イメージ (表1-3, 図6, 7)

台湾で重視されている祝日は旧暦に従い, 春節(旧お正月), 清明節(墓参りの日, 旧4月5日), 端午節(旧5月5日), 中秋節(旧8月15日)などである。そして廟ではこれらに加え, 主神の誕生日を最も重要な年中行事と位置づけている。以上の日には廟は参拝者でにぎわう。中でも主神の聖誕祭は廟の年間を通して最大のイベントの日であり, 参拝者がとりわけ多い。他に旧暦の1日, 15日も多い(理由は明確ではないが, 縁起がいいといわれている)。これらの日を, 廟の特別日とする。なお, 特別の日に該当する企画は, ほぼ全部の廟共通である。

表1(近所の廟の有無)によると, 62%の人の近

所に廟があり, 多くの人にとって廟は身近にある存在である。また, 表2(聖誕祭や旧暦1日, 15日に廟に行くか)より, 特別日に40%の人は廟へ参拝に行くとの結果をみると, 廟参拝を生活の中に位置付け, 廟に行く人が少なくないといえる。さらに, 表3(イベントへの参加の有無, このイベントは特別の日以外の取り組みのこと)より, 53%がイベントに参加したことがある。このように特別な日やイベントのある日は, 半数以上の人々が廟を訪問している。

つづいて, 図6より参拝以外でも廟を訪問しているかどうかを年齢別にみる。廟の利用をしているのは30-40代が多く, 45歳以下に集中しており, 高齢者よりもむしろ中・若年齢層が多い点が注目値する。参拝は全体の6割(90人)であるが, 交流(散歩, 運動, 涼み, 碁を打つ, お茶を飲む)などの利用も3割弱ある。このように, 参拝以外の利用が, 一般の人々の間でも行われている。参拝利用以外は廟利用の多様化がうかがえる。中・若年齢層の利用が多く, 参拝以外の多様な利用が見られる点から,

表1 近所の廟の有無

近所に廟の有無	ある	ない
20歳以下	18	19
21-29歳	22	20
30-44歳	31	13
45-59歳	14	4
60歳以上	8	1
合計	93	57
%	62%	38%

表2 聖誕祭や旧暦1日, 15日に廟へ行くか

聖誕祭に廟へ行くか	行く	行かない
20歳以下	8	21
21-29歳	12	20
30-44歳	13	24
45-59歳	9	6
60歳以上	6	2
合計	48	73
%	40%	60%

表3 イベントへの参加の有無

イベント参加の有無	はい	いいえ
20歳以下	12	25
21-29歳	26	16
30-44歳	24	20
45-59歳	11	7
60歳以上	6	3
合計	79	71
%	53%	47%

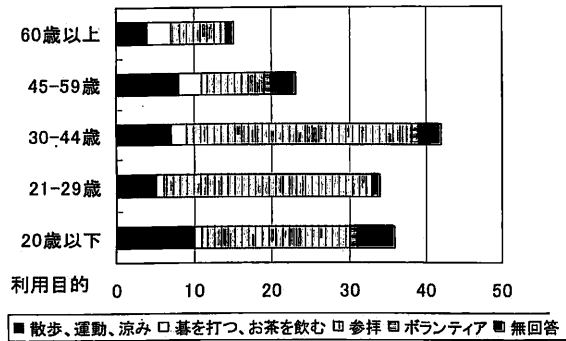


図6 年齢別廟利用目的

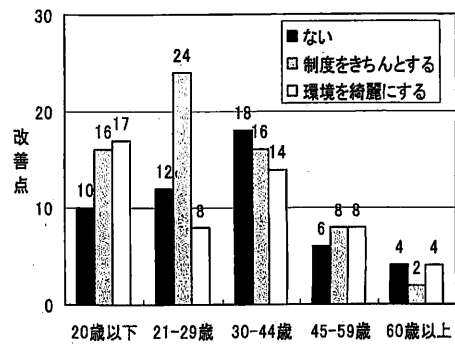


図8 年齢別廟改善点

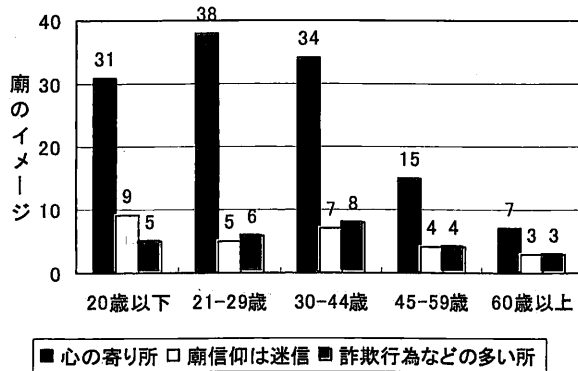


図7 廟に対するイメージ (150人よる複数回答)

廟は今後も、生活に根ざし、利用されていくと考えられる。

民間信仰と言われる台湾の廟信仰は従来いろいろに評価されてきた。今回の調査結果(図7)を見ると、複数回答であるが、悪いイメージ(廟信仰は迷信16%、詐欺行為などの多い所14%)を持っている人は少数である。多数の人は「心の拠り所(70%)」と廟の存在を肯定的に評価している。

3-3. 年齢別廟改善点(図8)

廟の改善点を尋ねると、33%(50人)の人は改善しなくていいとの結果であり(図8)、廟の現状に満足している。100人中66人が制度をきちんとしてほしいことを望んでおり、中でも20代の人が多い点が注目される。そして環境を整えてほしい(綺麗にしてほしい)人も半数いる(51人)。このように大部分の人は廟に関心を持ち、改善要求をもっている。

4. 2000-2001年の廟新聞記事について (写真1-8)

新聞記事は廟の特別の日の企画であれば、廟の特徴が発揮されたものや、個性的な取り組みが計画されたものを取り上げる傾向があり、また、廟別に独自に取り組んでいる企画はより多く取り上げられる

と考えられる。年中行事Ⅰでは、上記の両方を対象とし、年中行事Ⅱでは、日常的な取り組みを対象として整理した。写真は年中行事の姿である。

4-1. 廟の年中行事Ⅰ(表4,6)

年中行事Ⅰ(表4と表6)によると、上記の両方が多く取り上げられている。「建醮」^{註2)}とは、賽銭寄付が大掛かりになる(何億円になることも珍しくない)だけでなく、廟の近隣住民の直接参加が重要になる企画である。イベント内容は獅子舞、宋江陣、跳鼓などの民俗芸能の他に、大規模の「拝拝」(多くの供え物と金紙が廟前に供えられる)や厄払いのための「七星平安橋」渡り、遶境^{註2)}などである。行事の最後の日、醮祭^{註3)}の閉めとして境域内の家々は宴席を設けて親戚や知人を招待する。来客が多ければ多いほど縁起が良いという礼金不要の宴会(流水席)である。このときは近隣住民の直接参加が必要となる。2000年はミレニアムの年であったため、醮祭(「王船祭」も)を行う廟の数が例年になく多い。表4によると10廟もあった(表5:2001年は1廟しかない)。

近隣住民はこのような宗教活動を通して、互いに協力し合い、新しい人的関係を形成し、交流を楽しむ。つまり、廟訪問者は祭りやイベントを通して、移民してきた当時の祖先の教えや、民俗文化を伝承してだけでなく新たな人間関係を作っている。廟は、信仰だけの目的で訪問する場ではなく、故郷に対する「人、事、物」の愛着を通しての一体感の確認と新たな人的関係構築の場でもあることを示唆している。

4-2. 年中行事Ⅱ(その他)或いは地域住民主権のイベント(表5,7)

年中行事Ⅱ(表5と表7)からみると、廟の庭や会議室などの空間は小規模イベントや地域の様々な勉強会などに利用されている。文化伝承や市民の交流のために、廟の附属施設で「郷土教育の研修会」や



写真1 台南県塩水鎮の「護庇宮」は聖誕祭の時廟庭にテントを張り、供え物を飾る。



写真2 午後「護庇宮」の廟庭でお祝いの伝統劇を見ている鎮民達。



写真3 夜「護庇宮」の廟庭でお祝いの伝統劇を行う(午後と夜)。



写真4 祭りのとき参拝に来た老若男女(「護庇宮」の廟前テントの中)。

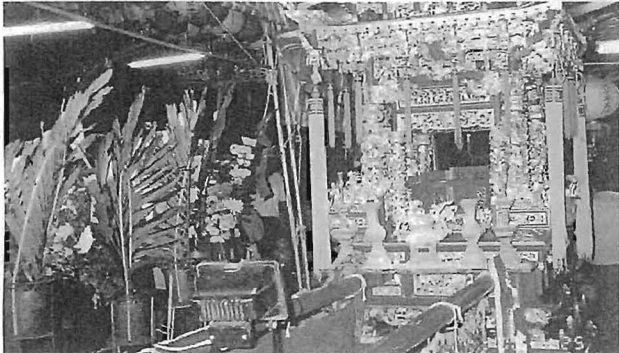


写真5 祭りのときの御神輿(塩水鎮の「護庇宮」)。

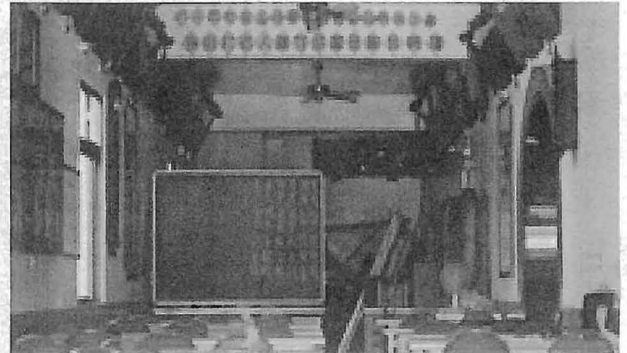


写真6 台南県玉井郷の「新天王殿」の附属室を利用した「識字班」(文盲の老人達のために)。



写真7 台南市東区「関帝廟」の廟庭で「提灯の日」の楽しみ会を行う(旧暦1月15日)。

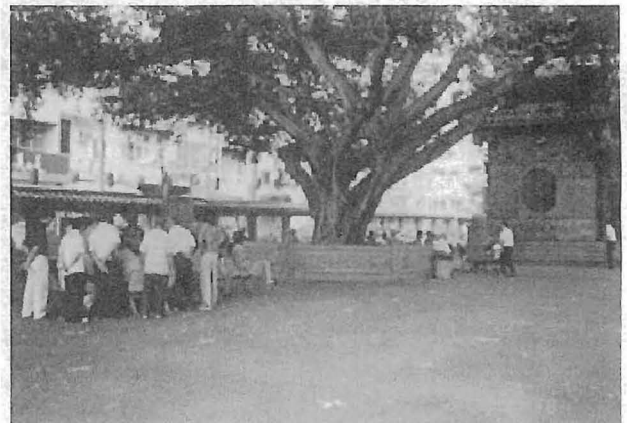


写真8 平日廟庭の木陰で碁を打つグループ(集団)(台南市東区「関帝廟」)。

廟の集い利用

表4 2000年年中行事Ⅰ(祭り中心) (注2, 3)

No.	廟名	縣市	期日	行事名	目的	イベント内容	参加者
1	塩水武廟	台南県塩水鎮	2月	元宵節(ランタン祭り)	鎮民の無病息災	「蜂爆竹」を鳴らす、花火	全台湾各地から
2	西勢広興宮	台南県永康市	2月	「挑餅日」	新生児の無病息災	甘いお菓子を近所に配る	里民
3	鹿耳門天后宮	台南市安南区	4月	安五堂	媽祖聖誕祭の準備	遶境(御興祭り)	村民
4	塩水護庇宮	台南県塩水鎮	4月	媽祖聖誕祭	鎮民の無病息災	歌大会、伝統劇	鎮民
5	安平妙壽宮	台南市安平区	4月	主神聖誕	お祝い、無事祈願	伝統劇、ボランティア診療など	台南市民
6	婦仁仁壽宮	台南県婦仁郷	4月	主神聖誕	お祝い、無事祈願	文物展覧会、寿麵食大会	郷民
7	学甲慈濟宮	台南県学甲鎮	4月	主神聖誕	お祝い、無事祈願	謁祖、遶境	各地の信者
8	麻豆代天府	台南県麻豆鎮	4月	3年に1回の迎香祭	無事祈願	遶境、平安宴	郷民、鎮民
9	日港慶安宮	台南県西港郷	5月	王船祭、礁典活動	無事祈願	遶境、平安宴	郷民
10	北門東隆宮	台南県北門郷	5月	王爺文物館開館式	宗教文物の伝承	開館式	郷民、近所の学校
11	前鎮廣濟宮	高雄市前鎮区	5月	慶成清礁大典&文化祭	無病息災&文化伝承	伝統劇、歌大会、民俗ショー、遶境	区民
12	竹林竹護宮	屏東県竹林村	6月	主神聖誕	村民の無病息災	祈福法事、10日間精進料理	全村民
13	前鎮易牙廟	高雄市前鎮区	7月	主神聖誕	事業繁盛	古禮の「君臣宴」、祭祀活動	コックさん、調理師達
14	南鯤身代天府	台南県北門郷	7月	池府千歳聖誕	お祝い、無事祈願	進香団(他廟からのお祝い団体)	全台湾各地から
15	蘆竹溝玄龍宮	台南県北門郷	7月	新廟竣工式	無病息災&文化伝承	祭祀活動	村民
16	開隆宮	台南市中区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
17	開台天后宮	台南市安平区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
18	臨水夫人廟	台南市中区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
19	鹿耳門天后宮	台南市安南区	10月	加更禮(18歳の成人式)	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
20	東山阿萬伯廟	台南県東山郷	10月	主神聖誕	お祝い、無事祈願	祭祀活動、社区図書館設立式	郷民
21	南鯤身代天府	台南県北門郷	10月	吳府千歳聖誕	お祝い、無事祈願	進香団(他廟からのお祝い団体)	全台湾各地から
22	喜樹萬聖宮	台南県喜樹郷	10月	主神聖誕	お祝い、無事祈願	建礁、民俗ショー、伝統劇	郷民
23	山上鄉天后宮	台南県山上郷	10月	祈安清礁	無病息災&文化伝承	宋江陣、獅子舞、跳鼓などの民俗ショー	郷民
24	東港東隆宮	屏東県東港	10月	王船祭	無病息災	祭神、王船を焼く儀式などの民俗活動	県民
25	本淵寮朝興宮	台南市安南区	10月	不見天法会	無病息災	平安橋を渡る、遶境、伝統劇など	信者達
26	佳里育龍宮	台南県佳里鎮	11月	重建慶成謝土廟会	無病息災	遶境	鎮民
27	茄定郷金鑾宮	高雄県茄定郷	11月	五朝祈安王礁	無病息災	王船を焼く	郷民
28	仁德郷水明殿	台南県仁德郷	11月	五朝王礁大典	無病息災	王船を焼く	郷民
29	社子天后宮	台南県麻豆鎮	11月	金拳木龍船の完成式	無事祈願	遶境	鎮民
30	左營城隍廟	高雄県左營鎮	11月	廟祭	無病息災&文化伝承	遶境、民俗活動、伝統劇など	県民
31	佳里鎮山宮	台南県佳里鎮	11月	慶成謝土五朝清礁大典	お祝い、無事祈願	祭祀活動、平安宴	鎮民
32	麻豆代天府	台南県麻豆鎮	12月	祈安清礁	無病息災	祭祀活動、平安宴	鎮民
33	大灣代天宮	台南県永康市	12月	七朝王礁大典	無病息災	王船を焼く、平安宴	信者達

表5 2000年年中行事Ⅱ(その他) 或いは地域住民主催のイベント

4	關廟山西宮	台南県關廟郷	5月	總統就職のお祝い	お祝い	祝い番大会&カラオケ大会	郷民	關廟郷ボランティア消防隊
5	土城聖母廟	台南市安南区	5月	国際家庭日	家族関係の増進	屋台料理、昔の玩具、カラオケ大会など	500世帯市民	(王昱亭国会議員事務所)
6	北門東隆宮	台南県北門郷	5月	王爺信仰文物館の見学	故郷の信仰について勉強	小学生150人が王爺信仰文物館を見学	小学生	(三慈小学校)
7	東港媽祖廟	屏東県東港郷	5月	郷土教育の研修	文化伝承	廟の役割と建築芸術の美を中学校の先生達に伝える	屏東県中学校教師200人	萬丹郷興化小学校(屏東県政府教育局)
8	三山國王廟	屏東県林辺郷	5月	郷土教育の研修	文化伝承			
9	萬惠宮	屏東県萬丹郷	5月	郷土教育の研修	文化伝承			
10	新惠宮	屏東県新園郷	5月	郷土教育の研修	文化伝承			
11	烏龍媽祖廟	屏東県萬丹郷	5月	郷土教育の研修	文化伝承			
12	東山碧軒寺	台南県東山郷	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
13	東山郷孚佑宮	台南県東山郷	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
14	白河碧雲寺	台南県白河鎮	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
15	白河大仙寺	台南県白河鎮	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
16	? 頂福安宮	台南県	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
17	後壁寮安宮	台南県後壁郷	5月	独居老人へ緊急ボタン寄付	独居老人の安全のため	独居老人がSOSボタンを押すと、救援に行く	独居老人	白河鎮交番
18	西庄惠安宮	台南県官田郷	6月	「愛玉子(農産物)」イベント	農産物をアピール	「愛玉子」の食べ大会、原住民の舞踊披露	県民	台南県愛玉子協会
19	葛瑪葛居寺	台南県	6月	ホームレスの家を設立	ホームレスを減らすため	ホームレスにお弁当と入浴場所の提供	ホームレス	
20	善化黃帝神宮	台南県善化鎮	6月	救急車の贈呈	社会支援	善化鎮消防隊に120万円の救急車を寄付		
21	飛虎將軍廟	台南市安南区	6月	日本神「杉浦」を参拝	先祖祭祀	105日本人は「杉浦」將軍を参拝に来た	日本人105名	「杉浦將軍」の日本親族
22	海埔池王府	台南県麻豆鎮	6月	露天軍史博物館設立	子供に勉強させるため	庭に廃棄の戦闘機と戦車を陳列する		
23	西庄惠安宮	台南県官田郷	7月	「家扶センター夏キャンプ」	施設の子供のため	陳總統の故郷見学と郷土名物を味わう	小学生170人	家庭扶助(施設)センター
24	蓮潭里大仙宮	台南県白河鎮	7月	白河蓮花節(ハス祭り)	地域興し	OPEN大会のステージは廟庭に	各地から	白河鎮役所
25	新當太子宮	台南県新當市	7月	新當市音楽祭	地域興し	露天音楽演奏と歌大会	市民	新當市役所
26	土城聖母廟	台南市安南区	7月	「台湾文史堂」	文化伝承	文学講座、座談会など	130人	
27	普天道濟寺	台南市安南区	7月	「濟公」(神様名) 文物展	文化伝承	獅子舞い、仏楽演奏、文物展覧会、診療会	信者、市民	
28	南鯤身代天府	台南県北門郷	8月	22回「塩分地帯文芸堂」	文化伝承	文学講座、座談会、創作コンテストなど	台湾各地から	台南県文芸協会
29	天壇	台南市中区	11月	老人養護センターOPEN	社会支援	建築面積4000坪で、250ベットある。	台南市民	
30	土城聖母廟	台南市安南区	12月	全国獅子舞大会	文化伝承		全台湾	(台南市芸術センター) (安平文化基金会)

文化歴史勉強会(台湾文史堂、塩分地帯文芸堂など)や地域農産料理大会、文物博物館の設立、文物展覧会などが行われている。廟は地域活動への場所提供の他に、社会公益慈善事業にも積極的に参加している。同じく(表5と表7)によると、一人暮ら

し老人の安全配慮のために警察と協力して緊急ボタン設備の経費を負担する、ホームレスの世話をする、献血活動、救急車の贈呈をするなどがある。

このように住宅密集地内に立地することの多い廟は、地域住民にとって使いやすい、広い空間である

表6 2001年年中行事Ⅰ(祭り中心)

No.	廟名	縣市	期日	行事名	目的	イベント内容	参加者
1	鹿耳門天后宮	台南市安南区	1月	迎春神	無病息災&文化伝承	迎春舞踏、模倣古銭を配るなどの活動	全台南市各地から
2	天壇	台南市中区	2月	天公聖誕祭	お祝い、無事祈願	平安橋を渡る、お祝いの精進料理食事会	全台南市各地から
3	大湾天公廟	台南県永康市	2月	天公聖誕祭	お祝い、無事祈願	獅子舞、聖樂團、伝統劇、花火大会など	信者達
4	塩水武廟	台南県塩水鎮	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	遶境、蜂爆竹、花火大会	全台湾各地から
5	西勢広興宮	台南県永康市	2月	「挑餅日」	新生児の無病息災	甘いお菓子を近所に配る	里民
6	鹿耳門天后宮	台南市安南区	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	天燈を上げる	全台南市各地から
7	麻豆文衡殿	台南県麻豆鎮	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	遶境、蜂爆竹大会、汁粉食事会	鎮民
8	新化朝天宮	台南県新化鎮	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	提灯大会、汁粉食事会	鎮民
9	土城聖母廟	台南市安南区	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	花火大会、カラオケ、民謡、民俗活動など	全台南市各地から
10	安定真護宮	台南県安定郷	2月	元宵節	無病息災&文化伝承	謎当て大会、汁粉、蕎麦食事会など	郷民
11	東山郷孚佑宮	台南県東山郷	5月	五朝禮斗祈安建礁大典	無病息災	祭祀活動	郷民
12	関廟代天府	台南県関廟郷	7月	池王爺升官慶典	お祝い、無事祈願	伝統劇、民俗ショー、蕎麦食事会など	郷民
13	開隆宮	台南市中区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
14	開台天后宮	台南市安平区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
15	臨水夫人廟	台南市中区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
16	永華宮	台南市中区	8月	16歳の成人式	無病息災	祭祀活動	全台南市各地から
17	頂土地廟	台南市西区	9月	総爺古街文化祭	無病息災&文化伝承	懐かしいお菓子、玩具大会、伝統ショー	全台南市各地から
18	下土地廟	台南市西区	9月	中秋節	無病息災&文化伝承	懐かしい玩具大会、伝統ショーなど	全台南市各地から
19	土城聖母廟	台南市安南区	9月	中秋節&聖母盃歌大会	無病息災&文化伝承	3日間廟庭で歌大会を行う	全台湾各地から
20	鹿耳門天后宮	台南市安南区	9月	中秋節&ダンス大会	無病息災&文化伝承	ダンスや歌の楽しみ会	全台南市各地から
21	頂土地廟	台南市西区	10月	土地神様聖誕祭	お祝い、無事祈願	伝統劇、民俗ショーなど	全台南市各地から
22	下土地廟	台南市西区	10月	土地神様聖誕祭	お祝い、無事祈願	伝統劇、民俗ショーなど	全台南市各地から
23	善化慶安宮	台南県善化鎮	10月	文昌帝君釋奠大典	お祝い、無事祈願	祭祀活動	信者達
24	朴子配天宮	嘉義朴子市	10月	直航? 洲媽祖廟進香團	無病息災	祭祀活動	信者達

表7 2001年年中行事Ⅱ(その他) 或いは地域住民主催のイベント

No.	廟名	縣市	期日	行事名	目的	イベント内容	参加者	主催者(或は協賛者)
1	綿仁仁壽宮	台南県綿仁郷	1月	蘭の花展覧会	旧正月のお祝い	蘭の展覧会、花市場と民俗ショーなど	台南県市民衆	蘭花協会
2	仁徳萬龍宮	台南県仁徳郷	1月	里桐りの宴会	近隣住民の交流	交流宴会、文化活動回顧展、書道展覧など	信者、郷民	
3	布袋見龍宮	嘉義布袋鎮	1月	里桐りの宴会	近隣住民の交流	廟庭で大根料理の宴会を行う	信者、鎮民	
4	土城聖母廟	台南市安南区	1月	春節(正月)の祭り	文化伝承&市民交流	花火、国際版画展覧、原住民舞踏、提灯作り	台南市民	
5	鹿耳門天后宮	台南市安南区	1月	春節(正月)の祭り	文化伝承	親子の竹提灯作り	顯宮小学校	(顯宮小学校)
6	海埔池王府	台南県麻豆鎮	1月	大木の移植式	自然保護	廃棄された120年輪の樹を他所から廟に移植		
7	西庄惠安宮	台南県官田郷	1月	總統からのお年玉	旧正月のお祝い	陳總統は故郷で民衆にお年玉を配る	台湾各地から	總統府
8	塩水武廟	台南県塩水鎮	1月	関公(羽)文物展覧会	旧正月のお祝い		台湾各地から	
9	鹿耳門天后宮	台南市安南区	4月	「鹿耳門文化營」3日間	文化伝承	台湾宗教、信仰と民俗現況の検討	台湾各地から	
10	西庄惠安宮	台南県官田郷	5月	總統就任周年お祝い	お祝い	歌大会、お母さんダンス、住民才芸ショーなど	台湾各地から	陳水扁故郷サービス事務所
11	天壇	台南市中区	5月	救急車の贈呈	社会支援	台南市政府に300万円の救急車を贈呈		
12	鹿耳門天后宮	台南市安南区	6月	媽祖宮地域産業生誕1日旅行	故郷について勉強	媽祖宮(地名)近くにある生態の勉強	台湾各地から	地区協展会
13	土城聖母廟	台南市安南区	7月	「台湾五子棋(碁)名人賽」	文化伝承&交流		台湾各地から	台湾五子棋(碁)協会
14	土城聖母廟	台南市安南区	7月	第3回「台湾文史營」	文化伝承&交流	原住民民謡、台湾歌、古詩吟唱など	各地から150人	
15	西羅殿	台南市西区	8月	五條港文化巡禮	16歳のお祝い	台南市の成人式の由来、典故などを語る	台南市民	社区大学、成功大学、YMCA
16	風神廟	台南市西区	8月	五條港文化巡禮	16歳のお祝い	台南市の成人式の由来、典故などを語る	台南市民	社区大学、成功大学、YMCA
17	金華府	台南市西区	8月	五條港文化巡禮	16歳のお祝い	台南市の成人式の由来、典故などを語る	台南市民	社区大学、成功大学、YMCA
18	景福祠	台南市西区	8月	五條港文化巡禮	16歳のお祝い	台南市の成人式の由来、典故などを語る	台南市民	社区大学、成功大学、YMCA
19	水仙宮	台南市西区	8月	五條港文化巡禮	16歳のお祝い	台南市の成人式の由来、典故などを語る	台南市民	社区大学、成功大学、YMCA
20	開隆宮	台南市中区	8月	「府城生命信仰の旅」	文化伝承&交流	生老病死を主宰する色々な神の紹介	台南市民	台南市文化局
21	開台天后宮	台南市安平区	8月	「府城生命信仰の旅」	文化伝承&交流	生老病死を主宰する色々な神の紹介	台南市民	台南市文化局
22	臨水夫人廟	台南市中区	8月	「府城生命信仰の旅」	文化伝承&交流	生老病死を主宰する色々な神の紹介	台南市民	台南市文化局
23	綿仁仁壽宮	台南県綿仁郷	8月	県農産物の料理大会	地域興し&交流		県民	
24	玉龍宮	台南市北区	9月	「燻香会」の献血活動	社会支援	献血活動の他に、信者達は公園周辺を掃除	信者、市民	廟に属する「燻香会」
25	綿仁仁壽宮	台南県綿仁郷	11月	アジア地域の「保生大帝」の交流会	文化伝承&交流	県農産物をアピールする要席600テーブル	各地「保生大帝」の信者	

ため、利用内容も多岐に渡っている。さらに、近隣住民への支援も行っている。現代の台湾社会で、廟は宗教施設としての役割を超えて、市民生活の拠点として存在している。

5. まとめ

廟と特別な関係がない、一般の人々のイメージ調査から、半数以上が廟に何らかの関係を持ち、訪問している。約70%が「心の拠り所」と廟の存在を肯定的に評価している。中・若年齢層の利用が多く、参拝以外の多様な利用も約30%の人が行っている。

このように廟は身近な施設と考えられており、今後も、生活に根ざし、利用されていくと考えられる。

地元新聞は、廟の年中行事をお祭り関係に限らず、地元住民の小規模なイベントなども取り上げており、廟を信仰だけの目的で訪問する場ではなく、故郷に対する「人、事、物」の愛着を通しての一体感の確認と新たな人的関係構築の場と捉えている。

現代の南台湾社会で、廟は宗教施設としての役割を超えて、一般市民の生活の中に位置づけられ、信仰だけでなくイベントや学習の場、さらに近隣住民の支援もするなど、市民生活の拠点となっている。

参考文献及び注

- 文1) 蕭玉燕, 鳥飼香代子: 廟のコミュニティ機能に関する研究—台南市における廟の分布状況, 日本建築学会九州支部研究報告, 第40号, pp117~120, 2001.3
 文2) 郭 中端・堀込憲二, 『中国人の街づくり』, 相模書房, 1980.3
 文3) 古家信平, 『台湾漢人社会における民間信仰の研究』, 東京堂出版, 1999.9, P.119

注1) 一連の研究では, 文1)以外に以下のものがある。

- ・鳥飼香代子・蕭玉燕: 台湾・台南県農村部を中心とした廟の「集い機能」に関する事例的研究, 熊本大学教育学部紀要, 第50号, 自然科学, 2001年12月
- ・蕭玉燕, 鳥飼香代子: 台南市における廟の集い機能に関する研究—利用者について, 日本建築学会九州支部研究報告, 第41号, pp333~336, 2002.3
- ・鳥飼香代子, 蕭玉燕: 南台湾における廟の「集い機能」に関する研究—若者の廟利用意識について, 熊本大学教育学部紀要, 第51号, 自然科学, 2002年1月
- ・蕭玉燕, 鳥飼香代子: 道教廟の利用内容と廟空間の考察—台南市における道教廟の集い機能に関する研究(その1), 日本建築学会計画系論文集, 第585号, 2004.11

注2)

- ・「台湾歴史文化与自然資源地図集」, 台湾中央研究院台湾史準備処より, 2004.7
- ・監修: 桜井徳太郎『民俗宗教第4集墓と山と聖地』—「台湾都市社会における寺廟信仰の現状—台南市の調査より」, 高橋晋一, 東京堂出版, 1993.4, P.238
- ・「遶境: 神像を神輿に載せて, 廟の付近を練り歩く。交誼境からも多数の神輿, 陣頭(獅陣, 宋江陣など民間芸能を演じるグループ)が参加し, 祭りの最も活気溢れる時空間を演出する。台南市内では, 台南大天后宮

の廟会における遶境(「台南迎媽祖」, 農曆三月二十一日・二十二日)が最も大規模なもので, 二日間かけて台南全市を巡行, 大天后宮付近の寺廟は, 陣頭・神輿を送って共同参加する。しかし近年, 都市部では交通を阻害するという理由から, 遶境は次第に規制されるようになってきている。」

注3)

- ・醮祭挙行について: 今回年中行事の記事として上げられた廟はほとんど台湾南部の台南県・市, 高雄県・市及び屏東県・市(高雄県の下)に分布している。劉によると「建醮」という「無病息災, 無事祈願」の大規模な祭りは移民の歴史を背景としているため, 最初の移住先である南部が北部より頻繁に行われている。そして「醮」という祭りをを行うのは神の指示によると考えられている。醮祭を行うきっかけについては, 古家³⁾が「神意による醮祭挙行の決定: 醮祭を行うことは, 1985年に輿仔を通した広沢尊王のお告げによって決まった。廟の境域内で事故や災害が頻繁に起こったため, 醮祭を行い事故の原因をなすと考えられる亡霊を追い払い, 境域を清めることを目的にしている。」と述べている。

「廟の管理委員は次のように語っている: 境域の平安が乱されるのは亡霊が原因となっている。亡霊は死に方とその後祭られ方によって問題を起こす。まともな死に方をしていないと, この世に恨みを残している。車に轢かれた, 戦争のときに爆撃で死んだものなどはその例である。その恨みを発散させるのが事故になって現れる。この廟ではこれが最初の醮祭であるが, 他の廟で何年かに一度行うのは醮祭で清められた境域に年とともに亡霊が増えるから, 住民がその祟りから逃げるためである。」

- ・劉枝萬『台湾の道教と民間信仰』
風響社.1994.12